

共生社会を目指した インクルーシブ教育システム構築に向けて

「インクルーシブ教育システム」とは、

障害のある子供と障害のない子供が共に学ぶ仕組みです。

授業が分かり、学習活動に参加している実感・達成感をもちながら、
充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けていけることを目指します。



基礎的環境整備

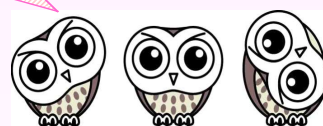
障害のある子供たち一人一人の状態に
応じた、合理的配慮を提供するために必要な
環境整備

合理的配慮

障害のある子供たち一人一人の状態や
教育的ニーズに応じて決定される、学びを
保障するために必要な支援

取手市では、障害のある子供と障害のない子供が共に学び、
共に生きていく社会の形成を目指しています。

すべての学校、学級で「インクルーシブ教育」が推進される
ことを願い、このリーフレットを作成しました。



平成25・26・27年度 文部科学省委託
「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」
取手市教育委員会 取手市立取手小学校(モデルスクール)

平成28年3月